

科目責任者 佐野 和美(薬物動態学研究室)、野澤 玲子(臨床薬剤学研究室)

■教育目的

がんの病態を把握し、その病態に応じたがん化学療法、緩和ケアに関する最新の知見を学び、がん化学療法、緩和ケアにおける薬剤師の役割を理解する。

■学習到達目標

1. がんの疫学、病因、病態について説明できる。
2. がん薬物療法(化学療法・緩和ケア)について概説できる。がん医療におけるチーム医療について説明できる。

■準備学習(予習・復習)

予習：教科書、参考書、配布プリントの該当部分に目を通しておく。

復習：講義内容を復習するとともに、関連事項について自分で調べてみる。

■授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	悪性腫瘍総論 1	がん化学療法総論Ⅰ(臨床検査値の読み方を含む)	E2(7)-⑦-1～3
2	悪性腫瘍総論 2	がん化学療法総論Ⅱ(抗悪性腫瘍治療の全容、支持療法)	E2(7)-⑧-1～4 E2(7)-⑩-1
3	悪性腫瘍 1	造血器腫瘍(白血病、悪性リンパ腫)、骨肉腫	E2(7)-⑧-5～7
4	悪性腫瘍 2	胃癌、食道癌(消化器系-1)	E2(7)-⑧-8
5	悪性腫瘍 3	大腸癌、膵臓癌(消化器系-2)、消化器系-3(肝・胆道系)、腎・尿路系悪性腫瘍	E2(7)-⑧-8・12
6	悪性腫瘍 4	肺癌	E2(7)-⑧-9
7	悪性腫瘍 5	頭頸部癌、脳腫瘍	E2(7)-⑧-10
8	悪性腫瘍 6	乳癌、生殖器系(前立腺癌・子宮癌・卵巣癌)悪性腫瘍	E2(7)-⑧-11・13
9	緩和ケア 1	がん疼痛の分類・機序、痛みの評価 緩和ケアの基本的知識・技能・態度	E2(7)-⑨-1
10	緩和ケア 2	オピオイド鎮痛薬(薬理学的特徴)	E2(7)-⑨-2 E2(7)-⑩-1
11	緩和ケア 3	鎮痛補助薬、薬物療法以外の疼痛治療法	E2(7)-⑨-1
12	緩和ケア 4	WHO方式がん疼痛治療法の実際	E2(7)-⑨-2
13	緩和ケア 5	オピオイド鎮痛薬(薬物動態学的特徴)	E2(7)-⑨-2 E2(7)-⑩-1
14	緩和ケア 6	緩和ケアにおける症状管理、オピオイドの副作用とその対策	E2(7)-⑨-2
15	緩和ケア 7	緩和ケアチームの実際、患者・家族の教育	E2(7)-⑨-1

■授業分担者

佐野 和美(No.1～5)、鈴木 俊宏(No.6・7)、外部講師(No.8)、野澤 玲子(No.9～11,15)、植沢 芳広(No.12～14)

■課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

試験(80%)、および出席状況・授業態度(20%)で総合評価を行う。

■教科書

講義プリント

『緩和医療薬学』加賀谷肇 編著(京都廣川書店)

■参考書

胃癌、大腸がん、乳がん、制吐剤適正使用、等各学会によるガイドライン